

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504848(P2005-504848A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-534436(P2003-534436)

【国際特許分類】

C 07 F 5/06 (2006.01)

C 08 F 4/658 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 07 F 5/06 A

C 07 F 5/06 E

C 08 F 4/658

C 08 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月9日(2005.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】

エーテルおよびエステルからなる群から選択される内部供与体、および、R Si(O R)3化合物からなる群から選択される外部供与体を含むことを特徴とする、請求項12～14のいずれかに記載の配位触媒システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

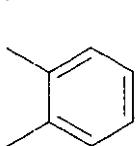
【請求項17】

一般式(I)で表される窒素含有有機アルミニウム錯体の製造方法であって、式中、

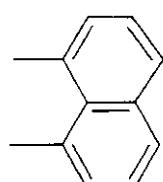
RおよびR'は、互いに独立して、CH₃、C₂H₅またはi-C₄H₉であり、R¹およびR^{1'}は、互いに独立して、CH₃またはC₂H₅であり、

R²は、

【化6】



および



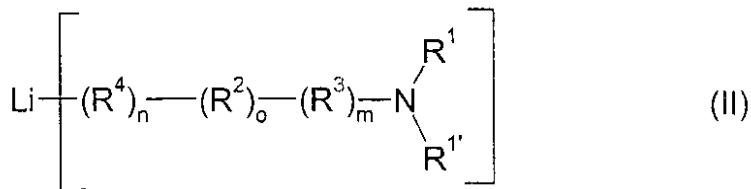
からなる群から選択される無置換の炭化水素であり、

R³およびR⁴は、CH₂であり、

そして、互いに独立して、mおよびnは0または1であり、o=1であって、

一般式 (I I)

【化 7】



式中、 R^1 、 $\text{R}^{1'}$ 、 R^2 、 R^3 および R^4 は、請求項 1 に定義の通りである、
で表される化合物を、一般式 (I I I)

【化 8】



式中、 R および R' は、請求項 1 に定義の通りである、
で表される化合物と、-50 ~ +30 の温度範囲で非プロトン性溶媒中で反応させること、そして反応生成物を分離すること、を特徴とする、
前記製造方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

プロペン重合用の触媒システムの製造方法であって、

(a) ハロゲン化チタンまたはハロゲン化バナジウムを、 MgCl_2 または SiO_2 または SiO_2 と MgCl_2 の組み合わせの上に、内部供与体、および請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の一般式 (I) で表される窒素含有有機アルミニウム化合物、および請求項 8 または 9 に記載の化合物を添加して、担持すること、
または

(b) 請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の一般式 (I) で表される窒素含有有機アルミニウム化合物および請求項 8 または 9 に記載の化合物を、 MgCl_2 、 SiO_2 または MgCl_2 と組み合わせた SiO_2 の上に担持し、ハロゲン化チタンまたはハロゲン化バナジウムを加え、そして内部供与体および / または外部供与体を加えること、
または

(c) 請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の一般式 (I) で表される窒素含有有機アルミニウム化合物および請求項 8 または 9 に記載の化合物およびハロゲン化チタンまたはハロゲン化バナジウムから活性種を生成し、この種を MgCl_2 または SiO_2 または SiO_2 と MgCl_2 の組み合わせの上に、1種または2種以上の内部供与体および 1種または2種以上の外部供与体を添加して、担持すること、
を特徴とする、前記製造方法。